



令和5年1月19日

第69回文化財防火デーを実施します

「文化財防火デー」は昭和24年1月26日、法隆寺金堂から出火し、国宝の十二面壁画が火災により焼失したことを契機として昭和30年に定められて以来、継続して実施されています。

都内にも、将来に継承すべき都民のかけがえのない貴重な文化財が多数現存することから、この機会を捉え、文化財を火災、地震その他の災害から守るため、文化財の所有者、管理者その他の関係者に対して防火防災体制の充実強化を図るよう呼びかけるとともに、都民等の文化財愛護に関する意識の普及と防火防災意識の高揚を図るものです。

1 文化財防火デー

令和5年1月26日（木）

2 当庁の推進期間

文化財防火デーを含むその前後

3 推進標語

育てよう 歴史を守る 防火の心

4 推進項目

- (1) 文化財関係者に対する火気管理の徹底及び地震時における出火防止対策の促進
防火防災指導等を通じ、消防用設備等の適正な維持管理、火気の適正な取扱い、工事、イベント等の際の出火防止対策、放火を防ぐ環境づくり及び地震時における出火防止対策を促進します。
- (2) 都民に対する文化財愛護に係る広報活動
文化財愛護に関する各種広報を通じ、都民の文化財に対する防火防災意識の高揚を図ります。

5 東京消防庁消防演習

本年は、聖徳記念絵画館（新宿区霞ヶ丘町1番1号）で実施します。

消防演習の詳細については**別紙**を参照してください。

文化財を **火災** から守る

1月26日は

文化財防火デー

CULTURAL PROPERTY FIRE PROTECTION DAY

文化財防火デーは、昭和24年の法隆寺金堂の火災を教訓として文化財を火災から守ることを目的に制定されました。





明治神宮外苑
聖徳記念絵画館

大正15年(1926)竣工。鉄筋コンクリート造2階建。外壁は万成産花崗岩表装、内部中央広間の壁床等は国産大理石張り。すぐれたデザインと先駆的な技術によるわが国最初期の美術館建築として、国の重要文化財に指定されています。館内には明治天皇とその後である昭憲皇太后お二方の御遺徳を後世に伝えるための幕末から明治時代の歴史的な場面を描いた大壁画80点が展示されています。



東京消防庁
公益財団法人
東京連合防火協会

東京消防 **検索**
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>



東京消防庁公式アプリ配信中!



ダウンロードはこちらから



11330-041111

問合せ先

{	東京消防庁(代)	電話	3 2 1 2 - 2 1 1 1
	広報課 報道係	内線	2 3 4 5 ~ 2 3 5 0

聖徳記念絵画館で消防演習を実施

1 日時

令和5年1月26日（木） 10時00分から10時38分まで

2 場所

聖徳記念絵画館 （新宿区霞ヶ丘町1番1号）

3 演習内容

聖徳記念絵画館1階の茶室から出火し、自衛消防隊が初期消火を実施しますが、火勢が強く延焼拡大します。消防隊が建物屋上に取り残された要救助者（車椅子と介助者）2名をはしご車で地上へ救出、さらに建物2階から消防隊により2名、計4名を救出し、その後、指揮者の合図により消防隊、四谷消防団、自衛消防隊による一斉放水を行います。

4 視察予定者

- | | | |
|------------------------|--------|------------|
| (1) 消防総監 | 清水 洋文 | (しみず ひろふみ) |
| (2) 総務省消防庁長官 | 前田 一浩 | (まえだ かずひろ) |
| (3) 文化庁審議官 | 小林 万里子 | (こばやし まりこ) |
| (4) 東京都教育庁
地域教育支援部長 | 岩野 恵子 | (いわの けいこ) |
| (5) 新宿区長（代理出席予定） | | |

5 統裁者等

- | | | | |
|---------|-----------|-------|------------|
| (1) 統裁者 | 第四消防方面本部長 | 田中 祐輔 | (たなか ゆうすけ) |
| (2) 指揮者 | 四谷消防署長 | 佐藤 睦 | (さとう むつみ) |

6 時系列

時間	経過
9時30分	報道関係事前レクチャー
10時00分	演習開始報告
10時01分	演習開始（火災発生）
10時15分	一斉放水（計9口）
10時17分	演習終了報告
10時20分	消防総監 講評
10時23分	来賓挨拶・謝辞（外苑長）
10時40分	広報展示見学

7 消防演習参加隊

(1) 自衛消防隊等	1 隊	8 名
(2) 四谷消防団	2 隊	8 名
(3) 消防隊 (消防ヘリ含む)	13 隊	45 名
計	16 隊	61 名

8 取材にあたっての注意事項

- (1) 取材中は自社腕章の着用をお願いします。
- (2) 演習会場は、消防車両の通行や消防隊員等が活動するため、係員の指示に従い事故防止に十分注意してください。
- (3) 取材受付は、**9時00分**から実施します。(場所は別図2参照)
- (4) 事前説明は、**9時30分**から実施します。(場所は別図2参照)
- (5) 報道機関用の駐車場の準備はありません、近隣のコインパーキング等をご利用ください。
- (6) 取材については、新型コロナウイルス感染症予防対策として、マスクの着用及び手指消毒、体温の測定(37.5度以上の場合は来訪をお断りする場合があります。)をお願いします。
- (7) 取材を希望する社は、**1月25日(水) 12時00分**までに広報課報道係まで電話でご連絡ください。

9 その他

聖徳記念絵画館の略歴は次のとおりです。

聖徳記念絵画館は、明治神宮外苑の中心施設で、明治天皇の事績を描いた絵画を展示する美術館です。

明治神宮造営局の実施計画により大正15年に竣工、一般から設計を募集し、国民の寄付金によって建設されました。

同絵画館は、日本初期の美術館建築で、建物の中央に、ドーム屋根を頂く吹き抜けの大広間において、左右に絵画室を配置した構成で、外観は花崗岩による重厚な仕上げとなっており、内部は大理石やモザイクタイルで壮麗に飾られています。

直線を強調した造形表現により、記念性の高い重厚な外観意匠を実現しており、高い価値が認められるとともに、ドームのシェル構造や絵画室の採光などに先駆的な技術が取り入れられていて、日本の建築技術の発展を知る上でも重要な建築物です。

会場位置図



演習会場案内図

